

# しんきんアジア E T F 株式ファンド

## 愛称: 情熱アジア大陸

追加型投信/海外/株式

### 交付運用報告書

第16期(決算日2019年5月20日)

作成対象期間(2018年11月21日~2019年5月20日)

第16期末(2019年5月20日)	
基準価額	9,060円
純資産総額	1,699百万円
第16期	
騰落率	1.4%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しています。

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきんアジア E T F 株式ファンド」(愛称: 情熱アジア大陸)は2019年5月20日に第16期の決算を行いました。

当ファンドは、上場投資信託を通じてアジア(日本を除く)の株式に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行っています。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しています。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。弊社ホームページの「ファンド各種資料」において運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される場合は、販売会社までお問い合わせください。

 しんきんアセットマネジメント投信株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<http://www.skam.co.jp>

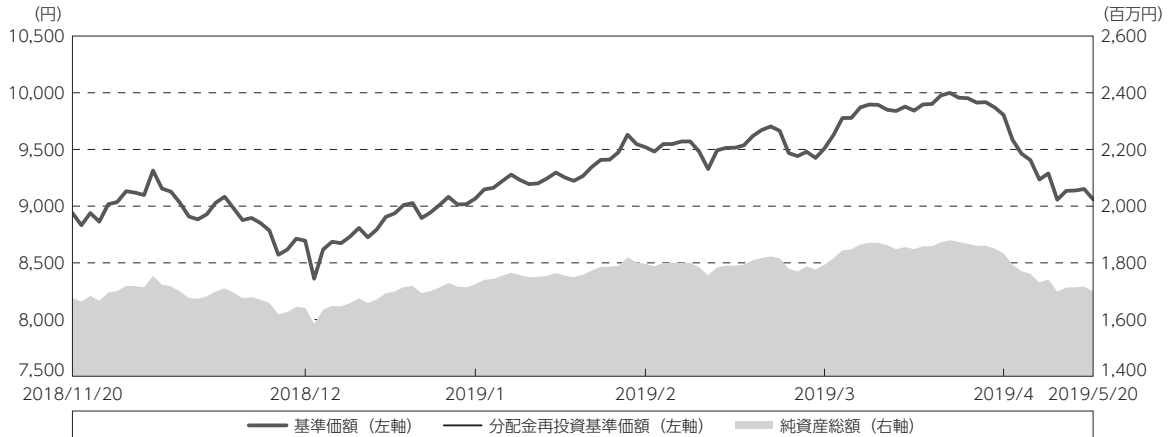
<コールセンター>  0120-781812

(土日、休日を除く) 携帯電話・PHSからは03-5524-8181  
(9:00~17:00)

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2018年11月21日～2019年5月20日)



期首：8,939円

期末：9,060円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：1.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2018年11月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。  
 (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、親投資信託である「しんきんアジア E T F 株式マザーファンド」を通じて、高い成長が期待されるアジア(日本を除く)各国の株式を対象とする上場投資信託(E T F)へ投資を行っています。

当期は、組み入れた E T F の値上がりを主な要因に、基準価額は上昇して終わりました。当期の基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

## 基準価額の変動要因

第15期末基準価額		8,939円	
要因	E T F	キャピタル	268円
		インカム	112円
	為替		△185円
小計		195円	
分配金		0円	
その他変動要因(信託報酬含む)		△74円	
第16期末基準価額		9,060円	

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。

## &lt;上昇要因&gt;

- ・米連邦公開市場委員会（FOMC）において、2019年内の利上げ見送りが示唆されたこと。
- ・中国の2019年1～3月期の実質国内総生産（GDP）の増加率が、前期から横ばいと減速せず、中国の景気持ち直しへの期待が広がったこと。

## &lt;下落要因&gt;

- ・2018年後半に中国の景気減速への警戒感が高まったこと。
- ・米国で暫定予算をめぐる、一部の政府機関が閉鎖されたこと。
- ・米国による中国への追加関税が発動されたこと。

## 1万口当たりの費用明細

(2018年11月21日～2019年5月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 52	% 0.562	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(20)	(0.214)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(30)	(0.321)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.028	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 3)	(0.028)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	2	0.017	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 2)	(0.017)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	57	0.607	
期中の平均基準価額は、9,286円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の掛かるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

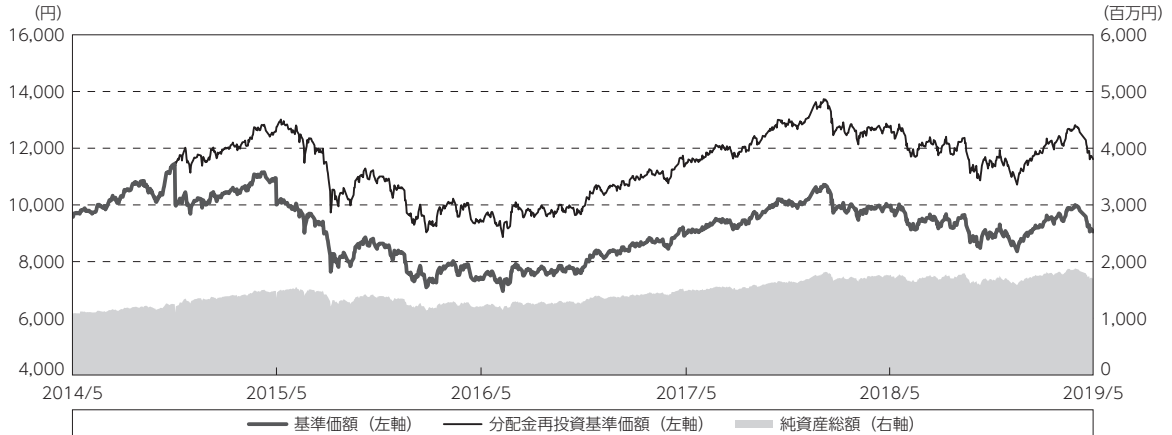
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2014年5月20日～2019年5月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額は、2014年5月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2014年5月20日 決算日	2015年5月20日 決算日	2016年5月20日 決算日	2017年5月22日 決算日	2018年5月21日 決算日	2019年5月20日 決算日
基準価額 (円)	9,659	10,008	7,385	9,018	9,928	9,060
期間分配金合計(税込み) (円)	—	2,580	0	0	60	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	32.0	△ 26.2	22.1	10.8	△ 8.7
純資産総額 (百万円)	1,094	1,358	1,204	1,487	1,754	1,699

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しています。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 (注) 当ファンドは上場投資信託を通じてアジア(日本を除く)の株式に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指していますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

**投資環境**

(2018年11月21日～2019年5月20日)

**(株式市況：アジア圏)**

当期のアジア株式市場は、全体として上昇しました。

2018年12月には、中国の景気減速への警戒感の高まりや、米連邦準備制度理事会（F R B）が、想定よりタカ派（金融緩和縮小に慎重ではない）との見方が広がったこと、米国で暫定予算をめぐり、一部の政府機関が閉鎖されたことなどを背景に、下落しました。

2019年以降は、F O M Cにおいて年内の利上げ見送りが示唆されたこと、米中貿易協議の進展期待の広がりや、中国の2019年1～3月期のG D Pの増加率が前期から横ばいと減速せず、中国の景気持ち直しへの期待が広がったことなどを背景に、4月まで堅調に推移しました。一方、5月以降は、米国による中国への追加関税の発動など警戒感が広がり、期末まで軟調な推移となりました。

なお、期首から期末までの投資対象である11の国・地域別の株価の動きは、インドネシア、マレーシアおよび韓国は軟調でしたが、その他の国は堅調となりました。

**(為替市況：アジア圏)**

当期のアジア通貨の対円為替相場については、全体として下落しました。

2018年12月には、中国の景気減速への警戒感の高まりなどを背景に、リスク回避的な動きが強まり、アジア通貨安円高となりました。2019年以降は、アジア通貨高円安基調で推移しましたが、5月以降に、米国による中国への追加関税の発動など警戒感が広がり、投資家心理が悪化し、期を通じては、総じてアジア通貨安円高方向に進みました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2018年11月21日～2019年5月20日)

親投資信託である「しんきんアジアETF株式マザーファンド」の受益証券への投資を行い、期を通じて、組入比率が高位となるように調整しています。

**●しんきんアジアETF株式マザーファンド**

中国、香港、台湾、インド、韓国、シンガポール、マレーシア、インドネシア、タイ、フィリピンおよびベトナムの11の国・地域へ投資しました。各国・地域への投資割合については、株式市場の規模などを考慮して、基準割合を決定しました。

当期における11の国・地域の基準割合については、期首はそれぞれ、中国13%、香港13%、台湾13%、インド13%、韓国13%、シンガポール8%、マレーシア6%、インドネシア7%、タイ8%、フィリピン4%およびベトナム2%としました。

2019年5月以降はそれぞれ、中国13%、香港13%、台湾13%、インド13%、韓国13%、シンガポール7.5%、マレーシア6%、インドネシア7.5%、タイ7.5%、フィリピン4%およびベトナム2.5%としました。

これらの基準割合に基づき、月次で投資対象国・地域の景気、市場動向および政情などの観点からの分析による見直しを行い、それぞれの国・地域の株式組入比率を基準割合から±1%程度で調整しました。

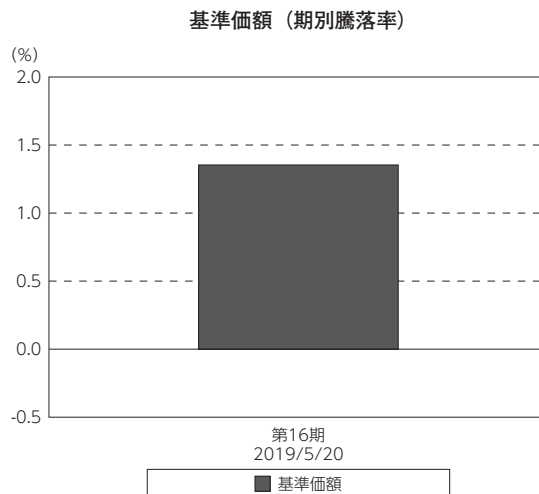
当期における国・地域の主な比率調整では、期を通じて、ベトナムの組入比率を基準割合よりも高めに推移させました。その他の地域の組入比率については、2019年2月に、韓国を引き下げ、インドネシアを引き上げるなどの調整を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年11月21日～2019年5月20日)

当ファンドは、ETFへの投資を通じてアジア（日本を除く）の株式に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指していますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## 分配金

(2018年11月21日～2019年5月20日)

収益分配金については、経費控除後の配当等収益や売買益、基準価額水準等を勘案した結果、当期の分配を見送りました。なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用します。

## 分配原資の内訳

(単位:円、1万円当たり、税込み)

項 目	第16期
	2018年11月21日～ 2019年5月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	781

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

主として、親投資信託である「しんきんアジア E T F 株式マザーファンド」の受益証券に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

### ●しんきんアジア E T F 株式マザーファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、E T F への投資を通じ、高い成長性が期待されているアジア主要市場の株式に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

また、E T F の組入比率は原則として高位を保つこととし、各 E T F の組入比率などについて、調整および変更等が必要な場合は随時行っていきます。

## お知らせ

該当事項はございません。

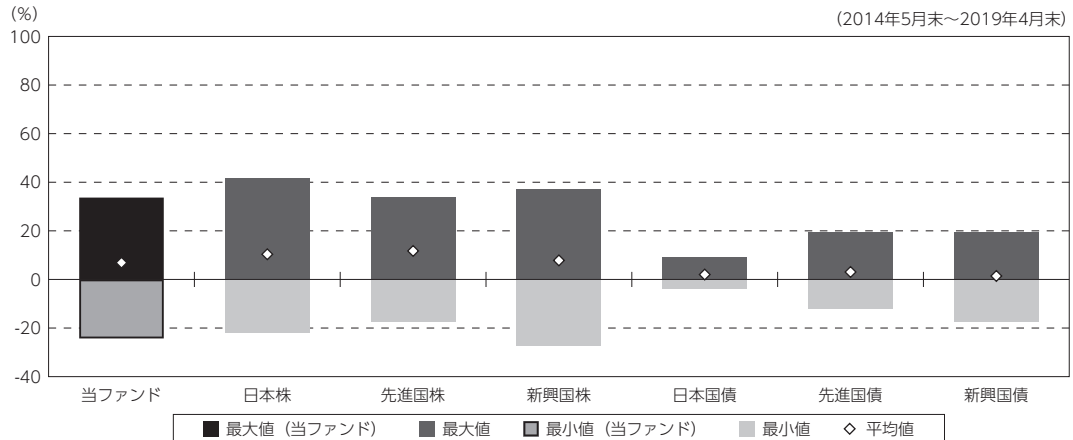
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限
運用方針	<p>①投資にあたっては、主として「しんきんアジア E T F 株式マザーファンド」(以下、マザーファンドといいます。)の受益証券への投資を通じ、原則として以下の方針に基づき運用を行います。</p> <p>1) 国内外の金融商品取引所に上場している投資信託証券(投資信託または外国投資信託の受益証券および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。以下「上場投資信託証券」といいます。)への投資を通じ、主にアジア各国(日本を除く)の株式に分散投資を行います。</p> <p>2) 投資対象となる上場投資信託証券の国別投資比率および銘柄選定にあたっては、市場規模、市場動向ならびに成長性、収益性、流動性等を勘案して行います。</p> <p>②マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>③外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>④市場動向あるいは資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>
主要投資対象	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
運用方法	上場投資信託を通じてアジア(日本を除く)の株式に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行っています。
分配方針	<p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>②分配金額は委託者が基準価額等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は分配を行わないこともあります。</p>



## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	33.7	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△ 24.3	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	6.9	10.4	11.7	7.8	2.0	3.1	1.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年5月から2019年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、14ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2019年5月20日現在)

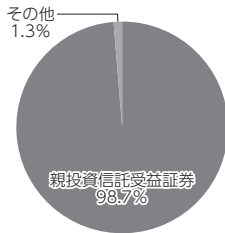
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第16期末
しんきんアジア E T F 株式マザーファンド	98.7%
組入銘柄数	1銘柄

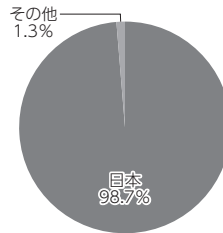
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

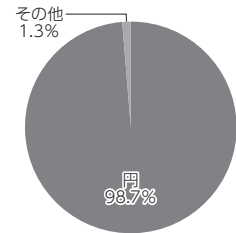
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注) その他は、日本円による現金、コール・ローン等を示します。

## 純資産等

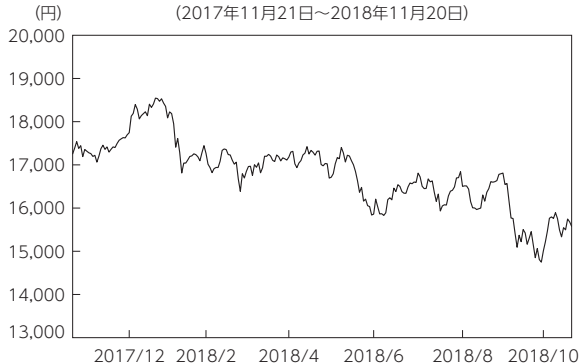
項目	第16期末
	2019年5月20日
純資産総額	1,699,095,546円
受益権総口数	1,875,382,741口
1万口当たり基準価額	9,060円

(注) 期中における追加設定元本額は105,890,037円、同解約元本額は106,502,719円です。

## 組入上位ファンドの概要

## しんきんアジアETF株式マザーファンド

## 【基準価額の推移】



## 【1万口当たりの費用明細】

(2017年11月21日～2018年11月20日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	8 (8)	0.047 (0.047)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.003 (0.003)
(c) その他費用 (保管費用)	8 (7)	0.045 (0.044)
(その他)	(0)	(0.001)
合計	16	0.095

期中の平均基準価額は、16,834円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

## 【組入上位10銘柄】

(2018年11月20日現在)

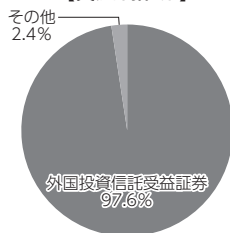
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	iShares MSCI Hong Kong ETF	投資信託受益証券	米ドル	香港	12.6
2	iShares MSCI South Korea ETF	投資信託受益証券	米ドル	韓国	12.3
3	iShares MSCI India Index ETF	投資信託受益証券	米ドル	インド	11.3
4	iShares MSCI Taiwan ETF	投資信託受益証券	米ドル	台湾	10.5
5	Xtrackers CSI 300 Swap UCITS ETF	投資信託受益証券	香港ドル	中国	7.6
6	iShares MSCI Singapore ETF	投資信託受益証券	米ドル	シンガポール	7.4
7	iShares MSCI Thailand ETF	投資信託受益証券	米ドル	タイ	7.1
8	iShares MSCI Indonesia ETF	投資信託受益証券	米ドル	インドネシア	5.8
9	iShares Core CSI 300 Index ETF	投資信託受益証券	香港ドル	中国	5.4
10	iShares MSCI Malaysia ETF	投資信託受益証券	米ドル	マレーシア	5.4
	組入銘柄数		16銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

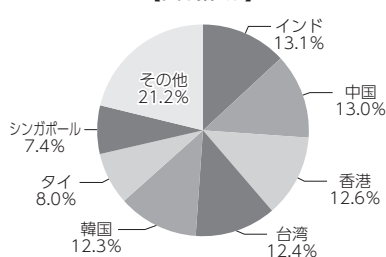
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

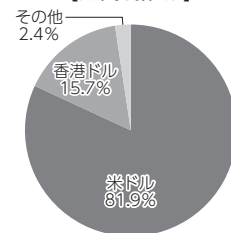
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

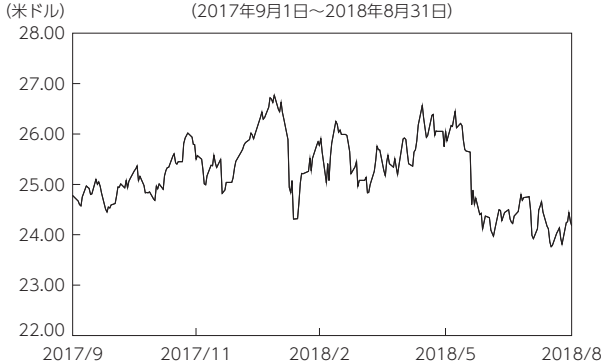
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<ご参考> iShares MSCI Hong Kong ETF

※ BlackRock Inc.作成のANNUAL REPORTの内容を基に、しんきんアセットマネジメント投信(株)が作成しています。

【1口当たり純資産価額の推移】

(2017年9月1日～2018年8月31日)



【費用比率】

(2017年9月1日～2018年8月31日)

項 目	比 率
エクス Pens レシオ	0.48 %

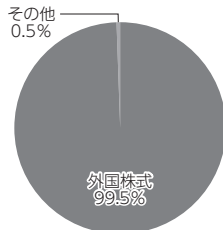
(注) エクス Pens レシオは、当期間中の平均資産残高に対する運用その他の経費の比率を表示しています。

【組入上位 10 銘柄】

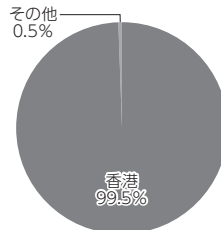
(2018年8月31日現在)

銘 柄 名	比 率
1 AIA GROUP LTD	20.22 %
2 HONG KONG EXCHANGES AND CLEARING LTD	6.51
3 CK HUTCHISON HOLDINGS LTD	5.98
4 SUN HUNG KAI PROPERTIES LTD	4.59
5 LINK REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	4.16
6 HANG SENG BANK LTD	4.02
7 CLP HOLDINGS LTD	3.72
8 HONG KONG AND CHINA GAS LTD	3.69
9 CK ASSET HOLDINGS LTD	3.55
10 BOC HONG KONG HOLDINGS LTD	3.51
組入銘柄数	47銘柄

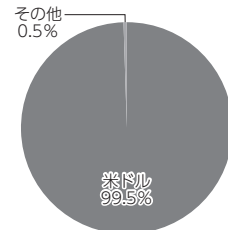
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



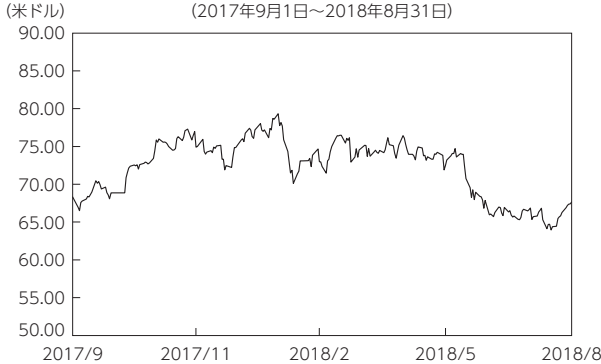
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

＜ご参考＞ iShares MSCI South Korea ETF

※ BlackRock Inc.作成のANNUAL REPORTの内容を基に、しんきんアセットマネジメント投信(株)が作成しています。

【1口当たり純資産価額の推移】

(2017年9月1日～2018年8月31日)



【費用比率】

(2017年9月1日～2018年8月31日)

項 目	比 率
エクス Pens レ シ オ	0.59 %

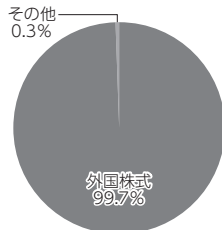
(注) エクス Pens レ シ オは、当期間中の平均資産残高に対する運用その他の経費の比率を表示しています。

【組入上位 10 銘柄】

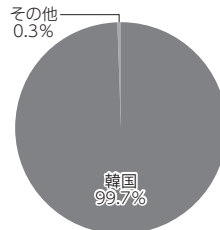
(2018年8月31日現在)

銘 柄 名	比 率
1 SAMSUNG ELECTRONICS LTD	23.13 %
2 SK HYNIX INC	5.76
3 POSCO	3.07
4 CELLTRION INC	2.65
5 NAVER CORP	2.56
6 KB FINANCIAL GROUP INC	2.49
7 HYUNDAI MOTOR	2.34
8 SHINHAN FINANCIAL GROUP LTD	2.26
9 LG CHEM LTD	2.06
10 HYUNDAI MOBIS LTD	1.87
組入銘柄数	115銘柄

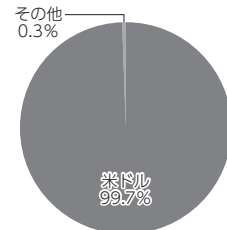
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

<ご参考> iShares MSCI India Index ETF

※ BlackRock Inc.作成のANNUAL REPORTの内容を基に、しんきんアセットマネジメント投信(株)が作成しています。

【1口当たり純資産価額の推移】



【費用比率】

(2017年1月1日～2017年12月31日)

項 目	比 率
エクス Pens レシオ	0.70 %

(注) エクス Pens レシオは、当期間中の平均資産残高に対する運用その他の経費の比率を表示しています。

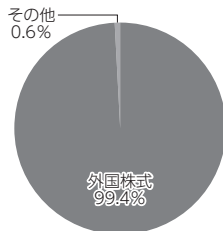
【組入上位10銘柄】

(2017年12月31日現在)

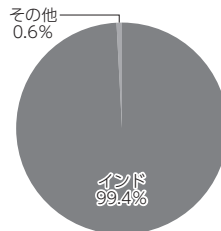
	銘 柄 名	比 率
		%
1	HOUSING DEVELOPMENT FINANCE CORPORATION LTD	8.50
2	RELIANCE INDUSTRIES LTD	7.87
3	INFOSYS LTD	6.01
4	TATA CONSULTANCY SERVICES LTD	4.07
5	MARUTI SUZUKI INDIA LTD	3.37
6	AXIS BANK LTD	3.10
7	ITC LTD	2.93
8	HINDUSTAN UNILEVER LTD	2.91
9	ICICI BANK LTD	2.46
10	TATA MOTORS LTD	2.25
	組入銘柄数	79銘柄

※上記は、iShares MSCI India Index ETFが組み入れている「iShares MSCI INDIA MAURITIUS CO.」の組入上位銘柄です。

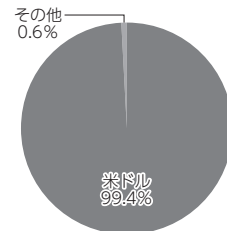
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

#### ○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

#### ○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。